

小山剛研究序説

150613

高橋紘士

一般財団法人高齢者住宅財団理事長

<http://takahato.com>

小山剛の功績



- ソーシャルワーカーとして
 - 価値・理念に忠実であった 尊厳を守るケアとは
- プロの介護経営者として
 - システムクリエーター、イノベーターとして
- 教育者或いは啓蒙家として
- オピニオンリーダーとして

小山剛が実践したこと



- 措置制度からの解放
- 「施設」の克服、ハードとソフトの分離
- 介護保険の理念の見える化
 - 本人中心主義
- 地域に溶けたケア「施設」
- 地域社会の共有地（コモンズ）としてのケア施設のあり方の発明



小山剛の手法

- 制度の活用とブレイクスルー
- 情報技術等の先端技術の大胆な活用
- 社会福祉法人の本来あるべき原則に極めて忠実であった
- 専門性に依拠した現場の裁量の尊重と環境変革型アプローチ
- ステイブジョブスに比すべきケアシステムのイノベーター



小山剛が次に
考えていたことは？



結論

小山剛は

ケアを活動分野とした

コミュニティデザイナーであり、

社会企業家であった